

保護者の皆様

大阪府立八尾支援学校
校長 東野 裕治
准校長 森本 裕

平成30年度 学校教育自己診断の結果について【報告】

★報告の内容は下の4項目



(1) 提出率
(2) 集計結果・分析 (生徒・保護者・教職員)
(3) 記述回答
(4) まとめ

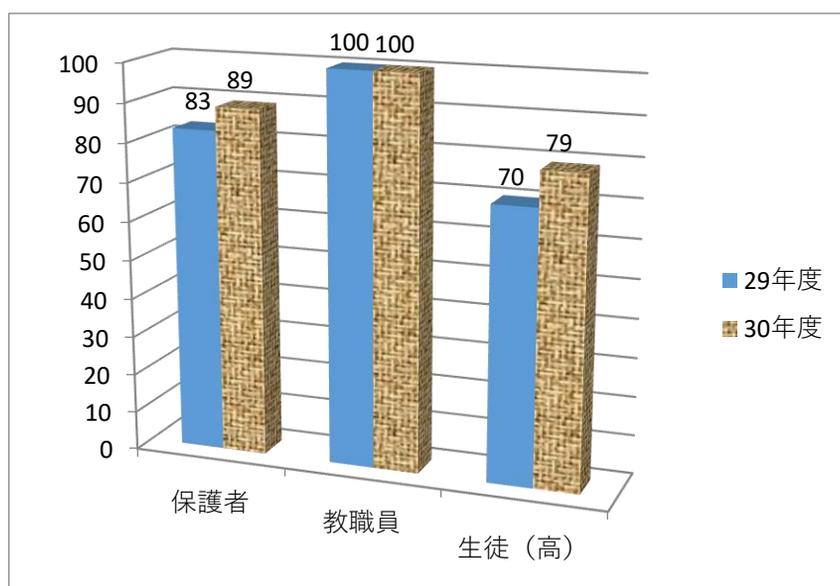
★★★ 分析基準 ★★★

- * 回答欄の「そう思う」または「だいたいそう思う」の回答があったものを肯定的と捉え、逆に「あまり思わない」や「思わない」の回答を否定的と捉える。
- * 達成度を測る基準として「肯定的意見が全体の70%以上」を捉える。また、「否定的意見は全体の30%以上」を課題として捉える。

(1) 提出率

	提出数	提出率	合計	総合・提出率
保護者	332/375人	89%	510/553人	92%
教職員	178/178人	100%		
生徒（高等部）	84/107人	79%		

* 前回との比較



- 保護者は、前回と比較して、6%上がった。次年度も引き続き協力を呼びかけたい。
- 教職員については、昨年度に引き続き100%を維持できた。引き続き自己診断の趣旨・ねらい等を踏まえながら主体的な参画を図っていく。
- 生徒については、前回より9%上がった。次年度も引き続き協力を呼びかける。

(2) 集計結果・分析

■肯定的意見90%以上 △肯定的意見5%以上の上昇
▼肯定的意見5%以上の下降

【① 生徒向け（高等部のみ）】

		30年度 %		29年度 %		比較
		肯定	否定	肯定	否定	
1	学校へ行くのが楽しいですか。	79	8	89	3	▼
2	授業は理解しやすいですか。	69	4	68	10	
3	学校では友だちの大切さや社会のルールについて学ぶことができますか。	71	1	66	7	△
4	先生とよく話をしますか。	79	6	73	11	△
5	先生はがんばったことをほめてくれますか。	85	0	82	5	
6	いじめでこまっていることがあれば、先生は話を聞いてくれますか。	77	2	53	2	△
7	先生はこまっているとき、たすけてくれますか。	57	2	76	7	▼
8	卒業後の進路のことでわからないことがあれば、先生は教えてくれますか。	55	1	53	5	
9	遠足、宿泊学習、修学旅行は楽しいですか。	82	1	■90	0	▼
10	運動会、学習発表会は楽しいですか。	81	2	87	2	▼
11	給食はおいしいですか。	87	4	89	2	

- 11項目中、達成基準に達したもの（70%以上）は、8項目あった。
 - ・ そのうち昨年より5%以上数値が上がったのは、3番『学校では友だちの大切さや社会のルールについて学ぶことができますか。』4番『先生とよく話をしますか。』6番『いじめでこまっていることがあれば、先生は話を聞いてくれますか。』の3項目で、3番についてはフロンティアコースをはじめ、授業の中で友だちとの関わりや社会のルールについての内容を聞く機会が増えたことが考えられる。
- 基準に達成しなかったものとしては、次の3項目が挙げられる。
 - ・ 2番『授業は理解しやすいですか』は、昨年度から肯定的意見が1%上昇とともに、否定的意見が6%減少した。今後も引き続きよりわかりやすい授業が展開できるよう教材研究に取り組み、授業力の向上へつなげていきたい。
 - ・ 7番『先生はこまっているとき、たすけてくれますか。』は肯定的意見が57%と昨年に比べて19%減少しているが、否定的意見は昨年より5%減少し、2%と低い数値であった。生徒たちがあまり困り感を感じていないことが考えられる。
 - ・ 8番『卒業後の進路のことでわからないことがあれば、先生は教えてくれますか。』は、肯定的意見は55%と低い数値であったが、否定的意見も1%と低く、進路のことで分からないと特に感じていない生徒もいることが考えられる。今後も進路学習や進路指導の充実を図っていきたい。
- 否定的意見が30%以上のものは、なかった。

■肯定的意見90%以上

△5%以上上昇 ▼5%以上下降

【② 保護者】

		30年度 %		29年度 %			
		肯定	否定	肯定	否定		
子どもの様子	1	学校へ行くことを楽しみにしている。	89	8	■92	7	
	2	授業を楽しみにしている。	82	12	84	9	
	3	給食を楽しみにしている。	86	10	87	9	
	4	学校行事（運動会・学習発表会・校外学習・宿泊学習など）を楽しみにしている。	84	11	86	8	
教育活動	5	『個別の教育支援計画』にもとづいた支援を行っている。	■91	4	■95	2	
	6	『個別の指導計画』にもとづいた指導・支援を行っている。	■91	4	■95	2	
	7	子どもの発達段階や課題に応じた授業を行っている。	86	8	87	9	
	8	教科学習や生活指導における教材や教具は工夫・配慮されている。	89	5	■91	5	
	9	『学校生活の記録』『学習の記録』を通じて、学習状況や成果を適切に評価している。	■93	2	■95	3	
	10	検診や測定、食育活動、手洗い、歯磨き指導などを通じ、適切な健康教育を行っている。	■93	3	■95	3	
	11	避難訓練（地震、火災、不審者、通学バス）や交通安全教室などを通じて、適切な防災教育・安全教育を行っている。	■90	2	■92	2	
	12	体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権尊重にもとづいた指導・配慮を行っている。	79	5	81	4	
	13	いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	77	2	75	3	
	14	あいさつや規則を守ること等を通して、社会性を養う指導を行なっている。	■90	3	89	2	
	15	学校生活を通じて、将来の自立・社会参加に向けた教育（キャリア教育）を行っている。	82	6	82	6	
	16	近隣の小・中学校との交流（居住地校交流含む）、高等学校との交流機会を設けている。	77	7	83	5	▼
保護者との連携	17	健康に必要な情報（保健日より・食育日より）を適切に提供している。	■97	2	■97	1	
	18	進路に関する情報（進路日よりや保護者説明会など）を適切に提供している。	■93	3	■94	3	
	19	児童・生徒についての保護者の悩みや相談に適切に応じてくれる。	■91	4	■94	3	
	20	P T Aは、活動を積極的に行っている。	88	2	■90	2	
	21	学習や生活の様子など、連絡帳や学年通信、また懇談会や授業参観などを通じて知ることができる。	■95	3	■96	2	
教育環境その他	22	教室の掲示物やスケジュールなどの学習環境、また授業で使用する教材や内容提示の方法などが、児童・生徒の特性に応じて視覚的にわかりやすく示されている。	87	4	■90	4	
	23	受付時のチェック体制など、不審者への対応を適切に行っている。	89	4	■91	4	
	24	校内でのけがや病気に対する適切な対応ができています。	88	3	■90	3	
	25	校内はいつもきれいで清掃が行き届いている。	76	18	79	15	
	26	施設や設備は子どもにとって安全に整備されている。	72	18	77	16	▼
	27	災害に備えて、備蓄や避難体制づくりなど取り組みを行っている。	80	4	83	4	
高の み	28	企業・施設・作業所等の進路について必要な情報を提供している。	84	9	86	8	
	29	企業実習・作業所実習の取り組み・支援が適切に行われている。	78	10	83	9	▼

- 29項目すべて肯定的意見が7割を超え、達成基準に達した。
- 16番『近隣の小・中学校との交流（居住地校交流含む）、高等学校との交流機会を設けている。』については肯定的意見が6%減少した。各部とも交流活動は様々な形で行っているが、保護者へのアウンスについてももしっかり行っていく必要がある。
- 25番『校内はいつもきれいで清掃が行き届いている。』、26番『施設や設備は子どもにとって安全に整備されている。』については、肯定的意見が7割を超えているものの、否定的意見がともに18%と昨年より少し増えた。今年は地震に加え大きな台風が多数直撃し、倒木や雨漏り、遊具の破損等の被害があった。できる限り早急な対応を行っているが、引き続き各箇所の安全な整備を進めていく必要がある。また、行政指導により、渡り廊下の屋根や自転車置き場の屋根の撤去等もあったことも影響していると考えられる。校内美化については、子どもたちの清掃活動も含め、今後も日々の継続が必要である。
- 否定的意見が3割を超えたものは、昨年度に引き続きなかった。

【 ③ 教職員 】

■肯定的意見90%以上

△5%以上上昇 ▼5%以上下降

		30年度 %		29年度 %			
		肯定	否定	肯定	否定		
教育活動	1	『個別の教育支援計画』にもとづいた支援を行っている。	■95	5	■96	3	
	2	『個別の指導計画』にもとづいた指導・支援を行っている。	■94	5	■96	3	
	3	発達段階や課題に応じた授業を行っている。	■94	6	■96	3	
	4	学習や指導における教材や教具は、工夫・配慮している。	■97	2	■97	2	
	5	『学校生活の記録』『学習の記録』を通じて、学習状況や成果など適切に評価している。	■96	3	■96	3	
	6	検診や測定、食育活動、手洗い、歯磨き指導などを通じ、適切な健康教育を行っている。	■95	4	■97	2	
	7	避難訓練（地震、火災、不審者、通学バス）や交通安全教室などを通じて、適切な防災教育・安全教育を行っている。	■95	4	■96	3	
	8	体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権尊重にもとづいた指導・配慮を行っている。	87	13	■93	6	▼
	9	いじめ（疑い含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応できている。	80	19	■90	9	▼
	10	あいさつや規則を守ることを通して、社会性を養う指導を行なっている。	■93	6	■94	6	
	11	学校生活を通じて、将来の自立・社会参加に向けた教育（キャリア教育）を行っている。	89	10	■92	8	
	12	企業実習・作業所実習の取り組み・支援を適切に行っている。	87	10	■92	7	▼
	13	近隣の小学校・中学校との交流（居住地校交流含む）、高等学校との交流の機会を設けている。	■90	9	■90	9	
保護者との連携	14	保健だより・食育だよりなど、健康に必要な情報を適切に提供している。	■99	0	■97	2	
	15	進路について必要な情報（進路だよりや保護者説明会）、また企業・施設・作業所等の情報を提供している。	■99	1	■98	2	
	16	児童・生徒についての保護者の悩みや相談に対して、適切に対応している。	■93	6	■97	3	
	17	P T Aは、活動を積極的にしている。	■94	5	■93	1	
	18	連絡帳や電話を通じて、保護者との連携をきめ細かく行っている。	■98	2	■98	2	
19	連絡帳や学年通信を通じて、学習予定や内容などを積極的に提供している。	■98	2	■99	1		
視覚支援	20	教室の掲示物やスケジュールなどの学習環境を、児童・生徒の障がい特性に応じて視覚的にわかりやすく示している。	■96	4	■96	3	
	21	児童・生徒の特性に応じて、授業が視覚的にわかりやすくなるよう、教材や内容提示の方法などを工夫している。	■97	3	■97	2	
組織マネジメント	22	校長・准校長は自らの教育理念や学校経営について、考え方を明らかにしている。	89	10	■96	4	▼
	23	校長・准校長は学校経営にリーダーシップを発揮している。	81	19	■91	8	▼
	24	学校運営に教職員の意見・意向が反映されている。	57	42	73	26	▼
	25	学校運営に関する必要な情報が全体に知らされている。	68	31	85	14	▼
	26	会議の結果が教育活動や学校運営に生かされている	65	35	82	17	▼
	27	日々の教育活動における問題や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場である。	69	31	75	25	▼
	28	体罰の防止等の人権尊重について、日々の教育活動に反映できるよう、研修等に取り組んでいる。	80	20	■91	9	▼
	29	初任・経験の少ない教職員への、育成における取り組みは積極的である。	76	24	75	24	
	30	分掌、学部、学年それぞれの連携は図られている。	72	28	73	26	
	31	労働衛生環境は少しずつ改善している。	49	51	51	49	
	32	勤務実態や休憩時間、教材研究や授業時間の準備など、労働条件は少しずつ改善している。	37	62	47	53	▼
	33	学校の課題を見つけ、改善に向け取り組みを行っている。	65	35	70	30	▼

- 1～21番までの21項目すべて肯定的意見が7割を超え、達成基準に達した。
 - 22～33番までの「組織マネジメント」12項目では、24番『意見の反映』25番『情報の周知』26番『会議結果が運営に活かされているか』27番『相談し合える職場』31番『労働衛生環境』32番『労働条件』33番『学校の課題改善』の7項目が7割に達せず、否定的意見は3割を超えた。
- 今年度、校長・准校長が代わって1年目ということで教員とのコミュニケーションの機会が十分でなかったことが考えられる。また、急遽行った調理実習場所の変更、保護者説明会と教職員への説明との間に生じたタイムラグについても影響していると考えられる。また、『労働環境・条件』については、児童・生徒および教職員の増加といった本校の現状から、職員室の狭さ、特別教室の減少、個別対応や生徒指導の増加等の実態がある。

【③ 教職員つづき】

■肯定的意見90%以上

△5%以上上昇 ▼5%以上下降

			30年度 %		29年度 %		
			肯定	否定	肯定	否定	
地域連携	34	地域支援においてセンター的機能を発揮し、リーディングスタッフやコーディネーターが動きやすい体制が整っている。	81	18	87	12	▼
	35	地域の幼稚園・保育所・小中学校・高等学校との連携・支援を行っている。	81	19	87	12	▼
	36	言語聴覚士・臨床心理士・医師・子ども家庭センターなど、外部機関と連携し児童・生徒の支援を行っている。	88	12	■90	10	
	37	消防署や警察と連携した『子どもの安全を守る』訓練は充実している。	■90	10	■93	7	
	38	地域に開かれた研修会が行われている。	80	20	■92	8	▼
教務	39	公文書や指導要録等の管理は十分に配慮されている。	■92	7	■95	3	
総務	40	施設や設備は子どもにとって安全に整備されている。	65	35	63	36	
	41	学校予算は適正に編成・執行されている。	85	14	87	13	
	42	P T A活動への教職員の理解・参加・協力は積極的である。	82	18	82	18	
	43	個人情報の管理における校内システムは確立している。	84	15	■90	9	▼
	44	情報公開に対応するための教職員の共通理解が図られている。	80	19	82	17	
	45	I C T教育の推進に必要な機器（大型モニター、タブレット端末など）は充実している。	59	40	65	35	▼
	46	日々の教育活動においてI C T機器（大型モニター、タブレット端末など）を積極的に活用している。	75	24	88	12	▼
行事	47	運動会や学習発表会、作品展等の校内行事の運営が適切に行われている。	■92	6	■96	4	
生活安全	48	生徒指導について組織として迅速に対応できている。	86	14	■93	7	▼
	49	全校集会など児童・生徒会活動は活発である。	86	14	■97	3	▼
	50	校内外における行方不明対策や校内巡視は整備されている。	■92	7	■97	3	▼
	51	災害に備えて、備蓄や避難体制づくりなど取り組みを行っている。	88	11	■93	7	▼
	52	校内の清掃活動を意欲的に取り組んでいる。	72	28	87	13	▼
	53	保健室は健康に関する相談がしやすい。	■93	7	■93	6	
	54	校内でのけがや病気に対し適切な対応をしている。	■98	2	■97	2	
	55	給食は子どもの実態に合ったように作られている。	■96	3	■95	5	
支援教育	56	校内支援（ケース会議・言語聴覚士相談・臨床心理士相談など）が受けやすい体制が整っている。	■93	7	■91	8	
	57	校内研修は計画的に実施されている。	■92	8	■92	8	
	58	校内研修は、専門性を高めて日々の教育活動に活かすことができる。	88	11	■90	10	
	59	キャリア教育発達段階表を基にした評価規準を活用している。	78	21	81	18	
進路	60	進路指導に関する教職員向け研修や学習会が計画的に実施されている。	88	11	■93	6	▼
	61	卒業式のアフターケア（進路先訪問や進路の変更の相談など）が行われている。	86	12	■90	8	

- 34～61番までの28項目中、26項目が達成基準に達した。
- 40番『施設や設備は安全に整備されている』は、今年度は大規模改修で管理棟と中学部棟の教室や廊下、トイレ等がきれいになったが、プレハブ棟については不衛生なトイレ、暑い・寒い時期の過ごし辛さ等、子どもたちにとって良くない環境である現状、このような結果となったことが考えられる。少しでも快適に子どもたちが過ごせるために早急な改善が必要である。また、来年度は作業棟の改修工事を控えている。
- 45番『ICT機器』に関しては、昨年度50周年の記念品として新たにパソコン12台が追加されたが、教室等で使用するパソコンやモニターは老朽化が目立ち、動きも遅くなっているのが現状である。今後ますますICT機器の必要性が高まることが予想され、改善を図る必要がある。今年度、図書室に授業や集会で使用できる常設のプロジェクターシステムが新たに導入された。
- 否定的意見の数値の高い項目（20%以上）についても、検討していく。

(3)記述回答【多くのご意見をいただき、誠にありがとうございました。要約しますと以下の通りです。】

1 施設設備に関して

○施設を安全に衛生的に整備して欲しい。トイレをきれいにして欲しい。

今年度の管理棟・中学部棟の大規模改修に続き、来年度は作業棟の大規模改修が実施されます。子どもたちがより安全に、快適に過ごすことができるよう、引き続き要望していきます。また、プレハブ棟、プレハブ棟横トイレにつきましても環境改善に向けて要望していきます。

2 学校行事に関して

○運動会について検討してほしい。（開催時期、学部別、種目数など）

来年度も引き続き大規模改修が実施されるため、運動会については6月開催となります。再来年度以降の開催につきましては今後検討を重ねてまいります。

○来校や行事の際、駐車場を確保して欲しい。

駐車場につきましては、子どもたちの安全確保、学習及び活動機会の確保を第一に考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

3 教育活動に関して

○教職員の質の向上を望む。障がいに応じた声かけや接し方を望む。

支援学校の教員として、障がい特性の理解、子どもたちへの関わり方、支援の方法等、日々研鑽を深め、人権意識を高く持ち、子どもたちのために丁寧な対応をしていくことを全職員で確認してまいります。

○写真が少なすぎる。行事や修学旅行の写真を購入したい。

購入希望を取る際の写真掲示等において、個人情報が出してしまう危険性があることや、子どもたちが学校に代金を持ってくる際に紛失してしまう危険性が考えられます。そのため、泊行事の際の写真については担任で選ばせていただき、配布という形になっておりますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。今後、配布枚数等の検討は進めてまいります。

○不適切な指導に関して、このようなことが二度と起きないよう対策指導を願う。

人権研修や自己チェックを定期的に行うと同時に、風通しの良い学校環境となるよう組織的に環境改善を行っていきます。

(4) まとめ

1. 今年度の自己診断アンケートについて、保護者・生徒（高）の提出率が昨年度と比較し、ともに大きく上昇した（教職員は昨年度と同じく100%）。次年度も引き続き協力を呼びかけていきたい。
2. 今年度『保護者向け』の29項目中すべての項目が達成基準に達し、『教職員向け』については、61項目中52項目が達成基準に達した。また、『生徒（高）向け』については、11項目中8項目が基準に達した。

『保護者向け』については、若干数値が下降した項目もあるが概ね昨年と変わらない結果であった。その中で課題としては、肯定的意見が70%台、否定的意見が10%代後半の「清掃が行き届いているか」と「施設・設備の安全」が挙げられる。大規模改修が今年度実施され、来年度も予定されており改善された箇所も大いにある。しかし、プレハブ校舎をはじめ引き続き改善に向けて取り組んでいく必要がある場所もある。

『教職員向け』については、特に【組織マネジメント】の項目で数値の下降が多かった。管理職にとって大きな課題であると同時に教職員一人ひとりの課題である。管理職はコミュニケーションの機会を十分に設け、教職員は機会を捉えて意見具申していくことが大切である。

『生徒向け』については、コミュニケーションに関する項目で数値の上昇が見られた。今後も引き続き教員と子どもたちとのコミュニケーションを大切に生徒理解を深めていきたい。
3. 学校教育自己診断アンケートの結果（記述回答を含む）を各部署で検討し、次年度に向け改善を図る。